

# 吸入指導の地域連携に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2019年8月7日～2020年12月31日

## 〔研究課題〕

都市部における吸入指導病薬連携の成果

## 〔研究目的〕

吸入薬は、様々な種類のものがあり、それぞれ使用方法が異なります。多くの研究において半分以上の患者さんが吸入薬を適正に使用されていないことが報告されており、病院保と陰薬局間で連携し、患者さんの吸入療法を支援していく試みが重要になります(以下、病薬連携と訳します)。2013年より帝京大学医学部附属病院を中心に板橋区医師会、板橋、北、豊島、練馬の4区薬剤師会と合同で吸入指導における病薬連携体制が確立されました。吸入療法に関して病薬連携が重要であることは認識されているのですが、その成果に関しては、まだ報告が不足しています。よって当院から参加した病薬連携に関して成果を報告すべきと考えています。

## 〔研究意義〕

当院の吸入指導の病薬連携体制は多くの保険薬局から情報がフィードバックされており、5年間でのべ1000人程度の患者さんが参加されていることから、良好な連携体制が維持されていると考えています。今後も様々な地域で病薬連携体制が発足されることが予想され、当院がそのモデルとなり、多くの地域で良好な連携体制が確立されることを期待します。

## 〔対象・研究方法〕

2013年5月から2018年12月までに当院外来から吸入指導病薬連携に参加した患者さんを対象に全例で調査をします。調査する項目は以下とします。

連携に参加した患者さんに関して【年齢】【性別】【連携に参加した回数】【疾患】【現在の疾患のコントロール状況】

薬局の指導内容に関して【指導した薬剤】【指導した薬剤は初めて処方されたものか】【情報を医療機関に返答したか】【吸入手技に問題が指摘されたか】【一つの薬剤あたり何か所の問題が指摘されたか】【薬局の所在地】【聴取した副作用】

また上記に関して、一部データに対して一般的な方法で統計解析を行います(一例:薬剤ごとに問題が指摘される割合に差があるのか)。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院薬剤部

帝京大学医学部 内科学講座 呼吸器・アレルギー学

### 〔個人情報の取り扱い〕

本調査は、個人情報の取り扱いを含めその実施にあたっては帝京大学の倫理委員会の審査を受けております。また、データは ID 化され、統計的に処理しますので、調査の集計や学会発表、論文の執筆等にあたっては個人が特定されることは絶対にありません。データの管理、保管は厳重に行い、研究終了後にデータセット等を委員会事務局に提出し、一定期間保存した後に廃棄します。

対象となる患者様で、データの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部附属病院 薬剤部 前田光平

研究分担者: 帝京大学医学部 内科学講座 呼吸器・アレルギー学 長瀬洋之

帝京大学薬学部 臨床薬剤学研究室 渡邊真知子

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211 (代表) [内線 7806 ]